

つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）6月10日（水）

発信元：つくば市政策イノベーション部

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

新たな新型コロナウイルス感染症対策を検証 「ナッジ」理論を取り入れた結果、消毒したくなることが判明

～設置場所を変えただけで消毒実施率が**4.7倍**に。警備員の声かけで**7.5倍**！～

つくば市は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、来庁者の消毒実施率を上げるために、人々の自発的な行動を促す「ナッジ」理論に基づく実験を行いました。実施の結果、設置場所の変更と声かけにより、消毒実施率が大幅に向上しました。検証結果は以下のとおりです。

参考URL：<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/oshirase/1012547.html>（つくば市公式HP）

何もしなかった場合と比べて警備員が声かけをすると

7.5倍に増加！

10.5%

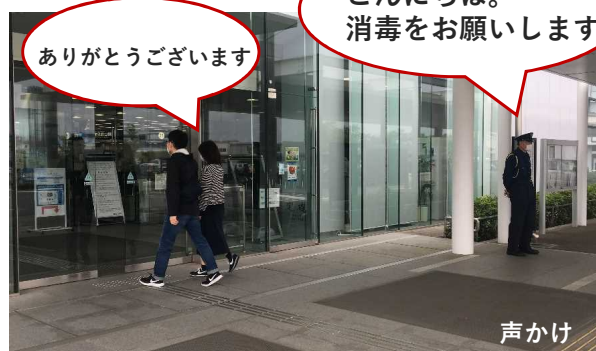
何もしない
（実験前）

49.5%

風除室に設置

78.5%

警備員の声かけ



消毒実施率は、入庁者数が200人になるまで消毒実施者数を計測し(消毒実施者数/200人)算出。
※詳細な検証結果につきましては、HPをご覧ください。

●消毒実施率が向上したのは2つ

- (1) 風除室に設置（通行の邪魔にならない程度、来庁者の動線にかかるよう設置）
10.5%→49.5%（統計学的有意差あり）
- (2) 玄関付近に常駐する警備員による声かけの実施
10.5%→78.5%（統計学的有意差あり）

今回の検証結果は、令和2年（2020年）5月1日環境省プレスリリース「新型コロナウイルス感染症対策における市民の自発的な行動変容を促す取組（ナッジ等）」に応募しています。

※ナッジ（nudge：そっと後押しする）とは、行動科学の知見（行動インサイト）の活用により、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法です。

出典：環境省HP http://www.env.go.jp/earth/ondanka/nudge/nudge_is.pdf